

## 愛媛県立宇和特別支援学校本館給排水衛生設備修繕業務 仕様書

- 1 整備内容及び数量  
整備内容及び数量は次表及び別図のとおりとする。



No.	名 称	規 格	単位	数量	単 価	金 額	備 考
	A 直接工事費						
	1 本館WC区画 排水管閉塞改善		式	1			
	2 本館給水区画 高架水槽往き給水管漏水修繕		式	1			
	3 既設管撤去他		式	1			
	B 共通仮設費		式	1			
	C 現場管理費		式	1			
	D 一般管理費		式	1			
	【小計】						

No.	名 称	規 格	単位	数量	単 価	金 額	備 考
1	本館WC区画 排水管閉塞改善						
	硬質ポリ塩化ビニル管	φ100 VP 屋内一般 1.00m未満一律	m	12			
	同上継手類	φ100 DV	式	1			
	同上支持金具	φ100 ユニクロ	式	1			
	硬質ポリ塩化ビニル管	φ100 VP 地中配管 1.00m未満一律	m	4			
	同上継手類	φ100 DV	式	1			
	接合材	No70	式	1			
	硬質ポリ塩化ビニル管	φ200 VU 地中配管 1.00m未満一律	m	1			
	小口径汚水桝	UT-L:100×100-200 右(H=0.61m)	箇所	1			
	同上桝用樹脂蓋	C-AI:呼び径200 ライト	枚	1			
		CY-AI:呼び径100 ライト	枚	1			
	配管切断	樹脂管類 φ100	箇所	2			
	土工事 CONカッター切り	深さ:0.25m程度 @4.00m 材工共	式	1			
	根切り	W0.9m×H0.8m×L6.0m OP工法 人力土工	m³	3.72			
	積込み	人力及び子車	m³	1.5			
	埋戻し	既設土 人力及び子車	m³	1.99			
	埋戻し(管砂巻き)	山砂 人力及び子車	m³	1.17			
	【小計】						

No.	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	埋戻し	RM25 人力及び子車	m <sup>3</sup>	0.56			
	締固め	タンパ ランマ	m <sup>3</sup>	3.72			
	コア抜き	φ100 L=400程度 横貫	箇所	4			
	機械はつり	W1.0m×L2.00×H0.30m 材工共	m <sup>2</sup>	0.6			
	スラブ現状復旧補修費	レディームクスト・コンクリート:18-15-21.N	m <sup>3</sup>	0.55			
		左官:CON打設 金鋤押さえ	人工	3			
		配筋:異形棒鋼(SD295A-D13) 材工共	t	0.25			
		内装:ビニル床シート(施主支給品) 材工共	m <sup>2</sup>	2			
	機械損料	附帯工具類	式	1			
	消耗品雑材費	ブルホイント 切刃 シルテープ 溶材	式	1			
	【小計】						
	【合計】						

No.	名 称	規 格	単位	数量	単 価	金 額	備 考
2	本館給水区画高架水槽往き給水管漏水修繕						
	水道用硬質塩化ビニル管	φ 40 SGP-VD 地中配管 1.00m未満一律	m	4			
	同上継手類	φ 40 SKX 防食テープ巻き	式	1			
	同上支持金具	φ 100 ユニクロ	式	1			
	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	φ 40 HIVP 地中配管 1.00m未満一律	m	3			
	同上継手類	φ 40 HIVP	式	1			
	同上接合材	No. 80S	式	1			
	仕切弁	φ 40 GV(鉛レス) 10K 材工共	箇所	1			
	仕切弁柵(VC)	φ 150(H0.55m) 樹脂柵蓋共 材工共	箇所	1			
	【小計】						

No.	名 称	規 格	単位	数量	単 価	金 額	備 考
3	既設管撤去他						
	既設管撤去費 硬質ポリ塩化ビニル管	φ100 VP 地中配管 1.00m未満一律	m	4			
		φ150 VU 地中配管 1.00m未満一律	m	1			
	水道用ビニライニング鋼管	φ40 SGP-VD 地中配管 1.00m未満一律	m	4			
	発生土搬出	DID区間なし 2t積級 15km以下 含水	m³	3.22			
	廃材処分費	CON殻 DID区間なし(2t積級 15km以下)	m³	0.7			
		不燃 DID区間なし(2t積級 30km以下)	m³	0.25			
	【小計】						

## 2 履行期間

契約成立の日の翌日から令和7年9月30日(火)まで

## 3 安全管理

業務の実施においては、作業場所等の整理整頓に努め、安全に留意して事故防止に努めるとともに、関係法令を遵守し、安全管理の徹底を図ること。

## 4 その他

### 特記事項

- (1)着手にあたっては、当該修繕箇所の現状を調査して工程表を作成し、学校担当者の承認を得た上で修繕作業を開始すること。
- (2)工程表の作成にあたっては、学校担当者と作業の実施日程等について協議し、学校運営に配慮した日程とすること。
- (3)撤去した廃棄物の処理を適切に行い、マニフェストの写しを提出すること。

### 一般事項

- (1)この修繕業務は、契約書及び本仕様書に基づき施工するものである。  
※衛生器具等の型番は前表に示すとおり、ただし同等品であれば代替を認める。
- (2)作業内容に軽微な変更が生じた場合は、契約金額の範囲内で実施すること。
- (3)業務の実施において発生する廃棄物の処理は、受注者の負担により関係法令を遵守して、受注者の責任において処理するものとする。
- (4)契約の履行に際し学校敷地内の設備等を損傷させた場合、学校担当者に報告の上、修繕実施箇所であるか否かを問わず、受注者の負担により早急に補修を行うこと。
- (5)契約期間中又は完了後に生じた不良箇所で明らかに受注者の責に起因すると認められる事項については、受注者の責任において速やかに措置するものとする。
- (6)修繕完了後1年以内に作業の不備により不具合が発生した時には、速やかに受注者の負担において取替又は修繕すること。
- (7)受注者が本件の実施に伴い知り得た情報については、これを他に漏らしたり、他の目的に使用したりしてはならない。
- (8)修繕の状況について、工程ごとに写真を撮影し、工程名、撮影箇所、日付等を記入し、表紙に業務名、契約期間を記入し、提出すること。
- (9)その他、疑義が生じたときは、発注者と受注者との協議の上決定する。